

菊池研究室（環境法、環境政策）

教員名：菊池英弘

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

法律は国会が定めるものですが、政府から多くの法案が国会に提出され、成立しています。環境を保護するための法律案の作成など、環境政策の企画立案推進は、政府の中では環境省という役所が中心になって行っています。また、国際的な環境問題については外務省が関係しますし、経済産業省や農林水産省などの省庁も、環境に配慮した政策を進めています。



環境省



総理官邸の閣議室(*1)



外務省

この研究室では、環境法・環境政策が立案される政府内部の政策決定プロセスについて、外から観察、研究しています。

例えば、貴重な野生動植物の輸出入を規制するワシントン条約、また、国際的に重要な湿地を保護しようとするラムサール条約など、環境を守るための国際的なルールが結ばれてきていますが、これらの国際ルールに、日本政府がどのように対応してきたかなどを調査研究してきました。



密猟により危機に瀕しているアフリカ象



ラムサール条約登録湿地 荒尾干潟(*2)

● 先輩はどんなところに就職しているの？

今年（2018年）春の卒業生（4人）は、2人が公務員になり、2名が民間企業に就職しました。

(*1) 総理官邸ホームページより（上段中央の写真）

(*2) 環境省ホームページより（下段右の写真）